

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33504	インテリアデザイン Interior Design	村松 尚子	レ		1	選択	1.2後期

科目の概要

インテリアデザインとは主に建築内部における装飾など室内環境全体にかかわるすべてのデザインを言う。この科目ではインテリアデザインの基礎知識を身に付けることで、生活空間を豊かにすることを学ぶ。これは、ディプロマポリシーの①②③④に相当する。これらを身に付けるために行う。★設計事務所でのインテリアコーディネーター経験をもとに、インテリアデザインの基礎知識を深め、自身の居住空間のデザインを創出できる力を育む。

学修内容	到達目標
① インテリアコーディネート基礎を学ぶ。 ② 収納とインテリアの関係と学ぶ。 ③ キッチン空間をデザインする。 ④ 間取り図を読む力を養い、描き方の基礎を学ぶ。 ⑤ 一人暮らしを想定し、必要なエレメントを選定、レイアウトをしたプレゼンボードを作成する。	① インテリアコーディネートに必要な要素を説明できる。 ② インテリアを実用的に考察することができる。 ③ デザインと機能を備えた空間を創造できる。 ④ 間取り図を見て空間を推測できる。 ⑤ 学修した内容を踏まえ、自身の居住空間のデザインを創出できる。これは、ディプロマポリシーの①②③④に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験することで自己学修をすることができる。
	働きかけ力	わからないときに相談することができる。
	実行力	課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。
考え抜く力	課題発見力	人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。
	計画力	期限内に作品を完成させることができる。
	創造力	他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。
チームで働く力	発信力	相手に伝える工夫をして発表できる。
	傾聴力	相手の話を素直に聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。必要に応じて資料を配布する。
 参考文献：授業内で適宜紹介していく。
 プレゼンボードを作成するための材料費が1,000円程度必要。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：インテリアユニットとの関連が期待できる。
 資格との関連：インテリアコーディネーター、リビングスタイリスト等

学修上の助言 **受講生とのルール**

普段から室内を意識して観察をする。	課題を完成させ、提出すること。 やむを得ない理由がない限り欠席をしないこと。
-------------------	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	55	①		✓	課題①～⑩（2点×1、5点×8、3点×1） 完成度が低い、提出遅れは減点。 ・小課題を複数回出題する。テーマは都度指示をする。予習、講義、グループ討議、復習をとおして順次完成させ、提出をする。 レポート①（10点） ・プレゼンテーションに関してレポートを提出する。 ※作成実習中の欠席、14週目に未完成の場合は減点
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	35	①		✓	・成果発表の事前準備ができ、円滑に発表ができる。（4点） ・人にわかりやすく伝える工夫ができる。（3点） ・人前で発表する姿勢を考えて発表ができる。（3点） ・作品が完成されている。（10点） ※作成実習中の欠席、14週目に未完成の場合は減点 ・自己の好みを客観的に分析した作品である。（5点） ・自己を表現する工夫ができる。（10点）
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験することで自己学修をすることができる。 （実行力）課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。 （課題発見力）人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。 （創造力）他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。 （発信力）相手に伝える工夫をして発表できる。 （傾聴力）相手の話を素直に聞くことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：課題、レポートの完成度が高く、全て提出されている。作品、発表において独創性があり、表現に工夫がみられる。</p> <p>A：課題、レポートの完成度が高く、全て提出されている。作品、発表において、表現に工夫がみられる。</p>	<p>B：課題がおおむね提出されている。作品を完成させ、発表を終えることができる。作品、レポートが提出されている。</p> <p>C：課題がおおむね提出されている。作品を完成させ、発表できる状態にある。作品、レポートが提出されている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	実例インテリア、インテリアエレメントの画像説明、課題説明、関連資格と職業の紹介 日本と西洋のインテリアの歴史とトレンドを学ぶ	講義、質疑応答 課題と課題のフィードバック	シラバスを理解できている。 インテリアエレメントを認識できる。 課題①提出	予習：シラバス理解 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	住宅内の各空間の特徴と演出方法を考える インテリアの色彩計画の基礎と照明による空間の演出方法を学ぶ。	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	各空間の役割を考慮した空間の演出方法を検討できる。 インテリアにおける色彩、照明による効果を認識できる。 課題②提出	予習：いろんな室内を観察し、気づいたことをまとめる。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	家具とウィンドウトリートメント(窓装飾)について学ぶ	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	家具とウィンドウトリートメント(窓装飾)について認識できる。 課題③提出	予習：家具と窓まわりの装飾を観察し、気づいたことをまとめる。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	人間工学の基礎についてメジャーを用いて計測し学ぶ インテリアを表現する図面の見方を理解する。	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	人間工学から、空間・モノを把握し体感できる。 図面を見て空間を想像することができる。 課題④提出	予習：身の回りの家具の大きさを測る。 広告等の間取り図を集める。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	図面作成実習 簡単な図面を作成する。	講義、質疑応答 課題と課題のフィードバック	簡単な間取り図を作成することができる。 課題⑤提出	予習：部屋を観察し図をかく。 広告等の間取り図を集める。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	収納とインテリアの関係を学ぶ	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	収納を通して生活とインテリアの関係、重要性を発見できる。 課題⑥提出	予習：生活の中で片づけられない原因を考察する。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
7	キッチン1 キッチンのデザインとトレンド、構成について学ぶ。	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	キッチンデザインするにあたり、必要な情報の収集ができる。 課題⑦提出	予習：キッチンを観察し、気づいたことをまとめる。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
8	キッチン2 キッチン空間のデザインをする。	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	収納とレイアウトを考慮しオリジナルキッチンの構成ができる。 課題⑧提出	予習：キッチンの構成を考える。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	家具のレイアウトを学ぶ プレゼンボード作成実習の課題、レポート①の説明	講義、質疑応答、グループ討議 課題と課題のフィードバック	図面の上で家具のレイアウトを検討することができる。 課題⑨提出	予習：暮らしの中で使いつらいと感じることをリストアップする。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
10	プレゼンボード作成実習1 一人暮らしを想定し理想の間取りとエレメントを選定する。	オンデマンド 課題⑩提出	プレゼンボードの作成課題を理解し、作成計画をたてることができる。	予習：プレゼン課題に必要な資料を集める。 復習：プレゼンボードの作成計画を見直し、必要があれば修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性
11	プレゼンボード作成実習2 室内のレイアウトと演出方法を検討する。	実習、作業中助言 パソコンを利用し、ネットの情報を収集しプレゼンボード作成に活用する。	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。	予習：プレゼン課題に必要な資料を集める。 復習：プレゼンボードの作成計画を見直し、必要があれば修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
12	プレゼンボード作成実習3 室内のレイアウトと演出方法を検討する。	実習、作業中助言 パソコンを利用し、ネットの情報を収集しプレゼンボード作成に活用する。	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。	予習：作成計画の見直しをする 復習：プレゼンボードの作成計画を見直し、必要があれば修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
13	プレゼンボード作成実習4 発表できるようにプレゼンボードを作成する。	実習、作業中助言 パソコンを利用し、ネットの情報を収集しプレゼンボード作成に活用する。	プレゼンボードに作品をまとめ、完成させることができる。	予習：作成計画の見直しをする 復習：未完成の課題、レポートを完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
14	プレゼンテーション1 作品発表をする。	作品発表、講評	自分の作品を発表することで自己表現ができる。 他学生の発表と作品の鑑賞を通して自作の課題を発見できる。 作品、レポート①提出	予習：発表の準備をする。 復習：講義の内容についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
15	プレゼンテーション2 作品発表をする。 授業内容を振り返る。	作品発表、講評 課題と課題のフィードバック	自分の作品を発表することで自己表現ができる。 他学生の発表と作品の鑑賞を通して自作の課題を発見できる。	予習：発表の準備をする。 復習：全講義を振り返り自己の成長についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
					90	

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力